

氏名	西 岡 奈 穂
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 1984 号
学位授与の日付	平成12年3月25日
学位授与の要件	医学研究科内科系小児科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	尿中落下逸脱細胞におけるTGF- β mRNA発現の検討
論文審査委員	教授 榎野 博史 教授 公文 裕巳 教授 清水 憲二

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

尿中の腎尿路系逸脱細胞を用いて腎での遺伝子発現を推測し得ないか、TGF β をモデルに用いて検討した。スポット尿 20ml から得た沈渣から、核酸を抽出、RNA に精製し、RT-PCR により TGF β および内部コントロールとして GAPDH を増幅した。PCR 産物は、アガロースゲルで電気泳動後、ethidium bromide で染色し、DNA 断片の蛍光強度をデンストメーターにより定量化し、TGF β の蛍光強度の GAPDH のそれに対する比で比較検討した。正常小児では、TGF β mRNA の発現を、ほとんど認めなかったが、腎疾患群においては、有意に高値を得た。また、IgA 腎症症例で、腎生検組織所見と発現量の関連も、みられた。この結果から、尿中に排泄される腎尿路系由来の逸脱細胞の遺伝子情報を検索することにより、非侵襲的に腎での遺伝子の発現状態を推測することが、可能であると考えられた。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は尿中の腎尿路系逸脱細胞を用いて腎での遺伝子発現を推測し得ないか、TGF β をモデルに用いて検討したものである。スポット尿 20ml から得た沈渣から、核酸を抽出、RNA に精製し、RT-PCR により TGF β および内部コントロールとして GAPDH を増幅した。正常小児では、TGF β mRNA の発現を、ほとんど認めなかったが、腎疾患群においては有意に高値を得た。尿中に排泄される腎尿路系由来の逸脱細胞の遺伝子情報を検索することにより、非侵襲的に腎での遺伝子の発現状態を推測することが、可能であると考えられ、重要な知見と思われる。

よって本研究は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。